



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 石田 康洋

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	71,743	3.7	1,722	18.0	2,094	18.6	1,391	18.1
2022年3月期第3四半期	69,200		2,100	8.6	2,572	10.8	1,700	17.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,463百万円 (9.8%) 2022年3月期第3四半期 1,623百万円 (10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	159.08	
2022年3月期第3四半期	194.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	49,670	30,301	61.0	3,463.73
2022年3月期	48,463	29,450	60.8	3,366.39

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 30,301百万円 2022年3月期 29,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		35.00		35.00	70.00
2023年3月期		35.00			
2023年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,779	2.9	1,900	22.5	2,500	17.9	1,700	19.2	194.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	9,255,926 株	2022年3月期	9,255,926 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	507,559 株	2022年3月期	507,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,748,367 株	2022年3月期3Q	8,748,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化に向かう中、各種政策の効果もあり持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化、資源価格・原材料価格の高留まり等、依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、物価高騰により生活防衛的な消費傾向はますます強まっており、業種業態を超えた競争激化や人件費上昇、原材料価格・電気料等の高騰により厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループはスーパーマーケットとして食のライフラインを守るという使命を果たすため、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、お客様ニーズに細やかに対応し、店舗の営業継続に取り組んでまいりました。

昨年度よりスタートしております「第三次中期経営計画(第55期～第57期)」は、「地域一番のお客様満足の実現」を中期経営方針に掲げ、「お客様の多様なニーズへの対応」「従業員が挑戦できる環境の実現」「業務基盤の活用による生産性の向上」「事業を通じた地域社会の課題解決」を重点課題とし、以下の施策に取り組んでおります。

「お客様の多様なニーズへの対応」については、ニーズの高い旬の生鮮品や健康志向・簡便即食商品等の販売強化を図るとともに、お客様の購入頻度の高い日配品の一部品目の価格を据え置くことで、お客様のくらしを応援しております。また、PB商品や当社の名物商品など付加価値の高い商品を拡充することにより売上総利益率を改善しております。さらに、来店受取型ネットスーパーについては、10月に「笠舞店(石川県金沢市)」を加え、現在5店舗で展開しており、「笠舞店(石川県金沢市)」ではご購入された商品をご指定の場所へ配送する「アルビスらくらく当日宅配サービス」を新たに開始しております。また、10月より新たなお客様との接点を広げるため「LINEミニアプリ」を導入、デジタル媒体による発信力の強化と広告の効率化を図り、アルビスPontaカードIDとの連携によるOne to Oneマーケティングの取り組みを開始しました。

「従業員が挑戦できる環境の実現」の取り組みとして、新入社員から経営幹部候補までの各階層に応じた教育プログラムに加え、店長が最新の店舗運営を習得するオンサイトプログラムを導入しております。また、地域社会を見守る認知症サポーター、熱中症対策アドバイザーの資格取得を推進しております。

「業務基盤の活用による生産性の向上」については、店舗業務における有効な改善施策を各店で共有・展開することで、さらなる生産性向上につなげております。また、プロセスセンターでは、継続的に製造工程を見直し原価率の改善に努めており、物流面では、運行管理システムの導入により配送状況の見える化を実現し、積載効率の改善により運行数を減少させるなど、コスト削減に努めております。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、「つなぐアルビス」をコミュニケーションメッセージに掲げ、地域・行政と連携し、地域社会の課題解決に努めております。当社が取り組んでいる「リレーフードドライブ」活動では、12月より「パスコ店(富山県射水市)」において富山県では初となる店舗常設型の無人フードドライブボックスを設置するとともに、「黒部店(富山県黒部市)」においては他業種と協業しての開催、「七尾店(石川県七尾市)」では和倉小学校の生徒とともに開催いたしました。当社は、食の大切さ、食品ロス削減について多くの方に知っていただけるよう、今後も本取り組みを推進してまいります。また、お買物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は、当期中に4台増え17台で運行しております。

2050年の脱炭素社会実現の一環として、温室効果ガスの測定のほか、SDGs目標達成へ向けた環境保全への活動を「albis Green Action」と総称し取り組んでおります。従来からのトレー・ペットボトル回収などのリサイクル事業に加え、1月にはレジ袋をバイオマス50%使用に変更するなど、サステナブルな生活提案や環境負荷軽減に寄与しております。また、「美濃加茂店(岐阜県美濃加茂市)」では太陽光パネルを設置するなどCO2削減を推進しております。

新店につきましては、4月に富山県小矢部市に「いすろぎ駅店」、7月に富山県黒部市に「黒部店」を出店しました。また11月に改装オープンした「羽根店(富山県富山市)」では、簡便即食商品および高品質商品を拡充し、これまでにない特色のある売場づくりを行っております。なお、2023年夏には、愛知県名古屋市において中部エリア3店舗目となる新規出店(北区金田店)を予定しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、前期新店3店舗と当期新店2店舗による売上増加により、営業収益71,743百万円(前年同期比3.7%増)となりました。利益面につきましては、高利益商品であるPB商品などの販売拡大とプロセスセンターの原価改善等により売上総利益率が改善(前年同期比0.7%増)したものの、各種資材・電気料等の価格高騰により、営業利益1,722百万円(前年同期比18.0%減)、経常利益2,094百万円(前年同期比18.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,391百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,206百万円増加し49,670百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の減少額879百万円、売掛金の増加額957百万円、商品の増加額272百万円、流動資産その他の増加額550百万円、建物及び構築物（純額）の増加額657百万円、有形固定資産その他（純額）の減少額160百万円等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、19,368百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額1,642百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少額345百万円、賞与引当金の減少額379百万円、流動負債その他の増加額735百万円、長期借入金の減少額1,310百万円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ851百万円増加し、30,301百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額779百万円、その他有価証券評価差額金の増加額72百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績につきましては、2022年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,928,689	6,048,882
売掛金	2,366,260	3,323,900
商品	2,078,860	2,351,261
原材料及び貯蔵品	147,377	220,044
その他	1,458,265	2,008,314
貸倒引当金	△68,590	△79,615
流動資産合計	12,910,862	13,872,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,807,128	16,464,894
土地	11,357,995	11,357,655
その他（純額）	2,727,386	2,567,037
有形固定資産合計	29,892,511	30,389,587
無形固定資産		
のれん	102,991	65,599
その他	820,420	768,164
無形固定資産合計	923,412	833,764
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,558,805	3,562,719
その他	1,509,708	1,335,254
貸倒引当金	△332,224	△324,112
投資その他の資産合計	4,736,288	4,573,860
固定資産合計	35,552,212	35,797,213
資産合計	48,463,075	49,670,001
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,249,786	6,892,570
1年内返済予定の長期借入金	2,195,073	1,850,044
未払法人税等	318,370	155,701
賞与引当金	661,881	282,210
その他	3,859,885	4,594,940
流動負債合計	12,284,995	13,775,465
固定負債		
長期借入金	4,206,151	2,896,046
受入敷金保証金	611,279	742,210
資産除去債務	827,761	879,063
その他	1,082,477	1,075,262
固定負債合計	6,727,669	5,592,583
負債合計	19,012,665	19,368,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908,337	4,908,337
資本剰余金	5,633,238	5,633,238
利益剰余金	20,149,484	20,928,822
自己株式	△1,232,934	△1,232,934
株主資本合計	29,458,126	30,237,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,716	64,487
その他の包括利益累計額合計	△7,716	64,487
純資産合計	29,450,409	30,301,952
負債純資産合計	48,463,075	49,670,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	68,376,938	70,919,773
売上原価	48,726,354	50,071,912
売上総利益	19,650,583	20,847,861
不動産賃貸収入	823,165	824,123
営業総利益	20,473,749	21,671,984
販売費及び一般管理費	18,373,425	19,949,200
営業利益	2,100,324	1,722,783
営業外収益		
受取利息	9,846	9,459
受取配当金	15,496	16,158
受取手数料	31,910	27,151
助成金収入	50,000	—
受取販売奨励金	126,646	134,302
その他	298,502	287,812
営業外収益合計	532,402	474,885
営業外費用		
支払利息	19,365	19,903
出向者給与	34,152	36,083
その他	6,848	46,694
営業外費用合計	60,366	102,681
経常利益	2,572,359	2,094,987
税金等調整前四半期純利益	2,572,359	2,094,987
法人税、住民税及び事業税	548,255	487,868
法人税等調整額	324,045	215,394
法人税等合計	872,300	703,262
四半期純利益	1,700,059	1,391,724
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,700,059	1,391,724

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,700,059	1,391,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,820	72,204
その他の包括利益合計	△76,820	72,204
四半期包括利益	1,623,238	1,463,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,623,238	1,463,928
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。